

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 第58号

学校法人 渡辺学園  
発行 総務部総務課  
〒173-8602 東京都板橋区加賀  
1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学大学院  
東京家政大学短期大学部  
附属女子高等学校・附属女子中学校  
附属みどりヶ丘幼稚園

### 主な内容

- 新しい時代へ向けての大学院開設!... 1面
- 完成年度に向けての新たな抱負... 1面
- 学生生活満足度調査2010報告書完成... 2面
- 第51回 緑苑祭... 2面
- 東日本大震災後の学生の取り組み・支援活動... 2面
- 大学のここが知りたい!! ⑤ 生涯学習センター... 3面
- ピンクリボン運動... 3面
- 白藤プロジェクト... 4面
- 節電継続にご協力を!... 4面

平成24年度

# 新しい時代へ向けての大学院開設!

東京家政大学大学院は、平成24年度に既存の家政学研究科と文学研究科を統合し、「人間生活学総合研究科」に改組致します。



木元幸一 学長

新しい時代へ向けて今回、大学院の改組を行いました。時代が変化し、大学院への期待も変化してきています。O E C D先進30カ国中、女性の大学への進学率が男性を上回っているのが9割で、男性が上回っている国は、韓国、トルコ、日本の3カ国だけです。これは本学伝統の資格・免許を生かして社会で役に立つ人材を育成するというこの現代版で、大学院までのキャリアを生かすのは女性に適したライフスタイルなのです。急速な少子高齢化が進行し、女性側の感性がとて重要になってきました。また、今の豊かな生活を維持するためには、女性も働くことが普通になってきました。そして、成熟期に差し掛かっている日本の社会でも大学院に求められるものが変化し、今までの研究者養成から専門的能力を高める高度な専門職業人の育成が望まれてきました。今までの研究能力に加えて課題解決能力を磨き、現代の諸課題を探索し、その解決法を見出すことにより、現状を改善していくことのできる人材を育成するのが目的です。そのため、本学の新たな大学院には課題解決能力育成のためのコースカリキュラムを設定し、高度な専門職業人の養成を行います。社会の要請にこたえ、としました。栄養士や保育士、幼・小・中・高の教員として、産業界や研究所で既に働き実績を示している人達が、現場での経験の中で課題となっていることをテーマとして持ち込み、複数の指導者の指導を受けながら探究・解決していくことが出来ます。本学の二代目学長青木誠四郎の言葉である「**実際家は日々の事に追われて研究に遠く、研究者は現実を見ず机上に理論を楽しむといった風では好ましくない。畢竟、学は実際家と研究者の協同事業でなくてはならない。**」を新しい本学大学院の基本理念と致しました。現在、学内外で短大・大学教授として活躍している方々も多くいます。現職社会人が学びやすいように、事前履修単位の積み重ねや実績を重視した短期履修制度、逆に事情に合わせて自由な時間活用ができる長期履修制度や夜間の開講を実施することとしました。

**畢竟、学は、実際家と研究者の協同事業である**

数年前から、学園祭である緑苑祭において、学科シンポジウムというものを奨励し実施してもらっています。先生方が中心となって研究者や産官学の第一線の人達をゲストスピーカーとして集めたかなり程度の高いもので登場し、最近の学園祭の充実を目を見張るほどです。大学祭の名に相応しい**熱気と先進的な雰囲気**が感じられました。普段教室の中でしか知らなかった**先生方の本当の底力や学問の深み**を垣間見るには良い機会で、貴重な知的刺激があったと思います。学会や研究会も開かれるようになり、このような機会が増えることにより、若い人達の鋭い純粋な感受性を喚起し、さらなる向上心と探究心が大学院と繋がり、新しい時代を築いていくエネルギーとなることを願ってやみません。

**私立大学の歴史は、自分の大学を出た学生に自分の大学の学位を授与できることにすること、自前の教授を育てることが長い間の目標でした。**明治10年の帝國大学誕生から学位を授与できる私立大学の誕生まで40年以上かかり、そして戦前大学を名乗る女子大学は存在しても自ら学位を授与できることを認められた女子大学は一つもありませんでした。本学は、大学の設置認可はどこよりも早かったのですが、大学院の設置が後れを取りましたので、これを機に一気に挽回をしたいものです。大学院教育ともなると地道な根気のいる努力を必要としますが、先に述べた本学大学院の教育理念のもと、世の中の求める人材育成を心がければ、この大学院は、必ずや本学の次の百年に大きく貢献致します。みなさまのご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 完成年度に向けての新たな抱負

平成21年度に改組転換、名称変更した5学科が、24年度に完成年度を迎えます。それぞれの学科長に、新たな抱負を伺いました。

### 児童教育学科長

大越和孝 先生

### 初等教育をリードする優れた教員を育てる

来年度、新学科としての初めての卒業生が巣立っていきます。現在の教育界の課題や要請をもとに、初等教育で活躍できる人材を育てていると自負しています。必ずや期待に応えてくれることでしょう。

### 新学科では、5つの基本理念に基づいた確かな教育を目指してきましたが、さらに、よりよい人材育成のために、学科全員で力を合わせていく決意です。

### 環境教育学科長

松本孝幸 先生

### 環境教育学科への転身

当学科は平成7年に新設された環境情報学科の名称を変更し平成21年に現学科名へと名称変更をしました。新学科の完成年度にあたり、学科名称に引っ張られて最初の改革の意図とは異なる方向に行かないようにすべきです。理想像として

は、大人向けの環境教育を実践することに主眼を置くという方向性であり、学生に迎合せず、筋を通した家庭から地球全体に関する環境の教育を施すことです。

### 英語コミュニケーション学科長

小泉仁 先生

### 圧倒的英語力の実力育成

学科名の変更に伴い、英語力の増進を目指す語文学文ミューンケーションゾーンの体制が整いました。学生の興味や関心に応じ他ゾーンの科目も履修できる緩やかな制度です。注目度の高い科目としては1年のIntensive English、2年のAdvanced Intensive Englishのシステムが完成し「英語で英語の授業」が一層充実しました。英語漬け状態で圧倒的な実力の育成を目指します。

### 心理カウンセリング学科長

相馬誠一 先生

### カウンセリングのできる人材を育成

本学科は、心理学の基礎基本を幅広く修得した上で、少人数での人間関係トレーニングやカウンセリング技術を修得する実習を重視したカリキュラムを進めています。また、いじめ・不登校などの問題に対処するカウンセリングのできる養成教諭の養成に努めています。この間、多くの受験生に支持されていますが、さらにカリキュラムなどの充実を目指していきます。

### 教育福祉学科長

上野容子 先生

### 人の尊厳を大切に、人の一生に関わる専門家を養成

「社会教育」「社会福祉」「心理学」の3分野を総合的に学ぶことにより、幅広い視点と、人を多面的・社会的にサポートできる豊かな専門性が身に付きます。実習授業の充実により、体験的に学ぶ機会を積極的に提供しておりますので、関係機関や卒業生等との繋がりが強い学科です。

幅広い視点を持って、社会的に支援ができる専門家を養成の充実を目指します。

## 創立130周年記念 渡邊辰五郎賞の創設

本学園は、平成23年度に創立130周年を迎えました。日本近代の黎明期である明治時代の偉大な教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、創立130周年を記念して「渡邊辰五郎賞」を創設致しました。「渡邊辰五郎賞」は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会で活躍するとともに貴重な貢献をした卒業生を称えるものです。

- \* 渡邊辰五郎賞 (1名)  
記念メダル及び副賞 (30万円)
- \* 渡邊辰五郎奨励賞 (2名)  
記念メダル及び副賞 (10万円)

既に、応募は11月30日に終了し、現在、渡邊辰五郎賞選考委員会にて選考を進めており、2月末日に決定致します。

詳細につきましては、学園のHPをご覧ください。

(総務課内「渡邊辰五郎賞」事務局)



# 「学生生活満足度調査2010」報告書完成

## 学生の満足度向上をさらに目指し、リニューアル

### 名称変更した

### 学生生活満足度調査

東京家政大学・東京家政大学短期大学部では、1971年(昭和46年)を第1回目として、5年または6年に一度、「学生意識生活調査」を実施してきました。2003年に第7回目の調査が行われた後、それまで狭山校舎で学んでいた家政学部1・2年生が板橋校舎へ移り、ついで2009年に文学部が人文学部となつて、板橋校舎への完全なワンキャンパス化が実現するという大きな出来事がありました。そのため、調査の実施までに7年の間隔が空きましたが、昨2010年10月に、第8回目となる調査が実施されました。調査の対象は大学生、短大生全員で、大学生は81%に当たる4008名、短大生は89%に当たる860名からの回答を得ることができました。2年生以上のみならず、1年生も調査対象です。ご記憶がもしもありません。ご協力に感謝したいと思います。

今回の調査では、名称が「学生生活満足度調査」と変更されました。これは調査の結果を、学生のみならずの満足度向上のために活かすというのを、今まで以上に強調するためです。

### 負担軽減と効率化考慮の44質問項目

調査票の作成は、教育・学生支援センター、進路支援センター、保健センター、図書館、国際交流センター、生涯学習センターなど、学

生活に大きな関わりを持つ学内各部署から質問項目原案を出してもらったことからはじめました。そして、それらの項目を土台として、学生委員会と教育・学生支援センターで協議を重ねながら、最終項目を作っていくきました。学生のみならず回答してもらう際の負担や時間的な制約を考慮するために、当初の案と比べると項目数をだいぶ減らして、項目内容も編集されています。従来の調査結果との比較可能性を考慮して、これまでの調査で用いた同じ質問項目もいくつか残しました。

### 見やすくカラフル表現 自信作の報告書

このたび完成した報告書は、44項目の集計結果にコメントをつけてまとめたものです。編集にあたって重視したのは、見やすさです。貴重なデータであっても、単なる数値の羅列では、読む気が起こりにくいものです。見向きもされたいと、さらにもっといいものを作りたいと、本報告書では、読んで(見て)もらいやすさを考慮して、集計結果をシンプルかつカラフルなグラフで表現してあります。レイアウトや表紙デザインも、ヒューマンライフ支援センターにお願した自信作です。図書館、教育・学生支援センターや進路支援センターの窓口で配置する予定ですので、ぜひ、手にとってご覧ください。



(表)

(裏)



### 東日本大震災後の学生の取り組み・支援活動

復興の願いを込めた「緑のカーテン」

みなさん、「緑のカーテン」が、学園の所在地である板橋区が発祥の地ということとはご存知でしたか。2003年に、板橋第七小学校で行われたのをきっかけに、全国各地に広まったと言われています。

大学内でも一昨年の夏に、環境分析研究室の村上和雄教授のセミナーの一環として「緑のカーテン」が始まりました。二期目となる今年度は、村上教授を顧問に、「環境サークルジラス」のメンバーと、栄養学科の有志の学生が協力し合い、育



たわわに実った元気なゴーヤ

ながら取り組みました。実行委員、クラスの友人達の協力で苦勞を乗り越えた1年生中心の実行委員会、何れも初めての経験、とまどうことばかりで本当に不安と苦勞の連続でした。また、多忙な日々が続く、勉強との両立もままならない状態でしたが、委員全員、そして周りの友人達の協力を得て数々の苦勞を何とか無事に乗り越えることができました。

みなで力を合わせて作り上げた緑苑祭

振り返ってみると本当に充実し、あつという間の日々だったと思います。やっと思っている時は大変なことしか考えられませんでした。が、いろいろな方に「良かったよ!」と声をかけていただいたことが、本当に嬉しかったんです。

苦勞もたくさん経験しましたが、その分、みんなで力を合わせて作り上げていく達成感、何物にも代えがたい自分達の良い経験、

大2管士 佐竹未希

被災した子ども達へ手作りタオルを贈呈

大3児童学科・児童教育学科対象の「生活環境演習(塩瀬治非常勤講師)の受講生達が、授業で地球環境の問題を学び、実際、東日本大地震で被災した子ども達に何かできないかを話し合った結果、学生全員参加で手作りタオルを贈ることが決定しました。

タオル作りは授業時間外に行われ、フェルトで柄を付けたり、刺繍により励ましのメッセージを入れたりし、タオルを包装する際には手紙と一緒に同封するなど、それぞれに工夫を凝らしたonly oneのタオルが学生全員の手によって完成し集められました。

8月1日、栃木県のホンダ自然体験施設「ツインリ

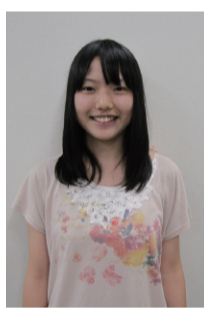


そっと! タオルをのぞきこむ子ども達



学園創立130周年という記念すべき緑苑祭が10月22・23日に行われました。今回のテーマは、「学園創立130周年 家政が日本を活性化」

今回はそのテーマのもと、素晴らしい緑苑祭を作り上げた第51回緑苑祭実行委員会の委員長 大1管理栄養士専攻の児玉あゆ美さんにお話を伺いました。



「毎日毎日、目の前の仕事をこなしていくのに必死で、正直なところ、最初は130周年ということを意識している余裕はありませんでした。しかし、学園創立130周年を迎えた記念すべき緑苑祭であること、周りの状況から徐々に認識し、自らの思いを込め

そして、記念日になりました。みなさん、本当にありがとうございました。ご協力ありがとうございました。

★学科企画

○栄養学科

授業成果発表として、たくさんのデザート、行事会のレシピが掲示されました。黒板にはオススメレシビが紹介され、学生達からは「美味しそう」という声があふれてきました。

○服飾美術学科・服飾美術科

ファッションショーEVEが行われました。会場前には大勢の人が列をなし、盛況振りが伺えました。

○造形表現学科

作品展示のテーマは「等身大の自分」。様々な作品が展示されていました。

★130周年記念企画!

緑苑祭で行われた企画の一部を紹介します

TKU's 人生の先輩と話をしよう

人文学部(前文学部)の卒業生をお招きし、在校生との交流会が開かれました。雰囲気は終始和やか。大

きな輪になって、みんな楽しそうに参加していました。創立130周年記念学科シンポジウム

創立130周年の記念企画として、各学科別シンポジウムでは、卒業生やその道のプロをお招きして、専門的なお話を聞くことができました。

○児童教育学科「インクルーシブ教育を考えるー特別支援教育の未来ー」

○環境教育学科「スキマの国のポルタ」荒井良二さんの世界を体感を喜ばせ、日常に新たな価値を見出す

○英語コミュニケーション

屋外では、多くのサークル団体の模擬店が軒を連ね、美味しそうな匂いがあちこちから漂ってきていました。どの企画も、活性化というテーマに相応しい、元気があふれている発表であったと思います。

大3栄養 海老綾香

「学内でも一昨年の夏に、環境分析研究室の村上和雄教授のセミナーの一環として「緑のカーテン」が始まりました。二期目となる今年度は、村上教授を顧問に、「環境サークルジラス」のメンバーと、栄養学科の有志の学生が協力し合い、育

# Pink Ribbon ピンクリボン運動

Design 造形表現学科卒業生 (H21年度卒)

本学が推進するピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、早期発見・早期診断・早期治療を啓蒙・推進することを目的としています。

②「ピンクリボンウォーク IN 戸田市(10/30)に参加」  
戸田市で開催された「ピンクリボンウォーク IN 戸



MENU①和風ミネストローネ  
②豆乳カレースープ  
③豆腐白玉の和風パフェ

①「緑苑祭(10/22・23)に「なでしこカフェ」を出展」  
緑苑祭では大3管理栄養士専攻の有志19名が「なでしこカフェ」を出展し、乳がんの予防効果が高い食材を使ったメニューを提供し、乳がんの知識を深める展示物を作成しました。カフェの売上げは、学生の希望により東日本大震災の被災地にあるピンクリボン運動を推進する団体に寄付される予定です。

③「生活習慣病予防イベント(2/22)に参加協力予定」  
北区開催の生活習慣病の予防イベント「20歳(はたち)へのプレゼント」へ参加し、ピンクリボン運動を推進します。



2,000人以上の参加



資料を広げてプレゼンの練習 多目的室

◆多目的室・メディア利用室が大盛況！  
昨夏、図書館2階がリニア利用室が誕生しました。多目的室では、館内利用のノートPCを使いレポートの作成や、グループ発表の練習などに取り組む学生が多くみられます。また、メディア利用室では最新機器でDVDが視聴でき、グループコーナーは大型ディスプレイで迫力の映像が観られます。



DVDでちょっと一息 メディア利用室

◆文献の探し方説明会  
主に卒論・修論を作成する方を対象に2月に実施予定です。受講者のテーマに沿ったデータベースの説明や、電子ジャーナルの検索実習など効率的な文献収集の方法を説明します。卒論・修論をどこから手を付けていいかわからない！とお悩みの方は、ぜひご参加ください。

### 春期休業中の長期貸出

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
在学年 大学1~3年 短大1年	1/24(火)~3/29(木)	5冊	4/14(土)
大学院	1/24(火)~3/15(木)	10冊	
卒業学年 大学4年 短大2年	1/24(火)~3/17(土)	5冊	3/17(土)
大学院		10冊	

上記の日付以降は通常の貸出に戻ります。

◆春期休業中の長期貸出  
春期休業中は通常より長い期間、本を借りることができません。寒い季節は暖かい室内で読書もいいですね。4月からの新生活に向けて知識を深め、多くの本を利用してください。

## インフルエンザを寄せつけないために...

- 1)インフルエンザの特徴は...  
・初発症状(発熱・悪寒・頭痛) ・主な症状(発熱・筋肉痛・関節痛)  
※通常の風邪は喉や鼻に症状が出ますが、インフルエンザは急激な高熱で始まり激しい症状は5日続きます。必ず病院受診をして診断と適切な指示を受けましょう。
- 2)日常生活で注意する点は... **手洗い** **うがい** **マスク使用**  
①十分な睡眠・休養で抵抗力を落とさない!(免疫力アップを心がけよう)  
②バランスのよい食事で免疫力を高めよう!  
③人ごみを避けて「病原体を寄せつけない」ようにしましょう!
- 3)ワクチン接種による予防  
・ワクチン接種で重篤な症状回避につながるのので内科医に相談を...
- 4)その他  
・乾燥した空気に強いインフルエンザウイルスは湿度50~60%で生存率が急激に低下。(湿度を上げすぎると「結露」「かび」の原因になるので40~60%がお勧めです)  
・鼻をかんだティッシュは「感染源」になるので、袋などで密封して捨てましょう。(すぐに手を洗ってウイルスを洗い流せば、周囲への感染防止にもなります。)  
・外出時は、風邪気味でなくてもマスク使用で予防に努めましょう。



生涯学習センターは、地域社会への大学開放の一環として設立され、今年で16年目を迎えます。市民の方や在学生のみならずの「学びたい」という気持ちからサポートしています。

講座の企画・提供だけでなく、「学習の場」としてだけでなく、受講生同士の「交流の場」としての機能も重視しており、継続的な学習環境を提供できる支援を行っています。窓口は大学8号館1階にあります。

## 大学の ここが知りたい!!

# 35

—生涯学習センター—

●どんな講座があるの?  
在学生及び一般向けのキャリア支援・資格取得対策講座の他、心理・福祉、語学、創作・表現、教養、生活、健康・スポーツといった7つの分野で本学130年の歴史と伝統が培った、家政大ならではの「学術」と「技芸」を中心とした講座をたくさん取り揃えています。講座は年齢や性別を問わず、どなたでも受講できます。現在4100名の会員があり、年間延べ1000名が受講しています。共に学ぶ受講生同士、そして講師との交流の環が広がっています。

●資格取得対策講座がさらに充実  
在学生のみならず、空き時間を見つけて資格をもう一つプラス!ワンランクアップに繋げてください。ホ



在学生も参加しています ホームヘルパー2級養成講座



科目ごとの受講もできます 保育士資格筆記・実技試験対策講座



きっと前向きになれる ポジティブ心理学



少人数でアットホームな雰囲気 英会話入門・初級



乳酸菌の解説とキムチ作り 発酵漬物の魅力



本格的な献立です 男の料理教室

◆お問い合わせ先  
TEL 03-3996-1574  
FAX 03-3996-1574  
TEL 03-3996-1574  
TEL 03-3996-1574

◆お問い合わせ先  
TEL 03-3996-1574  
FAX 03-3996-1574  
TEL 03-3996-1574  
TEL 03-3996-1574



博物館  
秋の特別「グアテマラ民族衣装」  
「いろ・もよう・かたちの発見」  
好評のうちに終了

かつてマヤ文明が栄えた中米の国・グアテマラ共和国。今回の展示は、この国で今も受け継がれている色とりどりの民族衣装を紹介しました。展示に訪れた方からは、鮮やかな色彩や手の込んだ織りに魅了されたという感想や、民族衣装の現状とこれからのについて考えるきっかけになったとお声を頂きました。

イベント「グアテマラの民族衣装を着てみよう!」では、実際に着装することでグアテマラの衣装をより身近に感じて頂けたようでした。一見派手ですが、着ると意外にじっくりして、みなさんよくお似合いました。

博物館スタンプラリー  
今年度からはじまった博物館スタンプラリー。今回の企画展で全部そろった!という方には、博物館特製

今回の企画展 平成24年の春は「きせつを楽しむ」をテーマに、日本の伝統行事に関する食や装いを紹介します。どうぞお楽しみに!

集めたスタンプの数に応じてオリジナルグッズをプレゼント!



### 頑張っています 在学生

#### ●公認サークルの活動 競技ダンス部

前号(第57号)で、お知らせ致しましたが、競技ダンス部は、第49回全日本学生選抜競技ダンス選手権(全国大会)に出場し健闘しましたが、惜しくも入賞は出来ませんでした。しかし、来年こそは！入賞！を目標に練習に励んでいます。その他の大会では、中・



目標を目指して頑張る！  
競技ダンス部

洋大学対抗競技ダンス大会、東部日本学生競技モダン新人戦で見事、優勝しました。今後も目標を高くもって、頑張っていきます。

#### ●白藤プロジェクト 第4回小学館 「大学は美味しい」 フェアに参加

9月22日(土)26日、新宿高島屋の開店15周年記念タカシマヤタイムズスクエア大感謝祭、第4回小学館「大学が美味しい！」フェア(即売)に第5期白藤プロジェクトリーダー高橋菜里さん(大3管理栄養士専攻)ら一同が参加しました。

動を活かし、商品開発を進めた「米粉シュークリーム」「米粉クッキー」をはじめ、新潟の酒蔵で仕込んだ「白藤諸白(しらふじもろはく)」、自分達の手で1枚ずつラベル貼りをした「白藤ビール」などが販売され大好評でした。35大学中、物産売上額第1位の2連覇を果たしました。



自慢の白藤ビール・白藤諸白  
(ラベルデザイン  
大4造形表現学科  
伊藤公美子さん)



活躍！第5期  
白藤プロジェクト



販売にも熱が入る！

### 「ユースファイル」 渡辺学園在学生特待生奨学金採用者へ授与

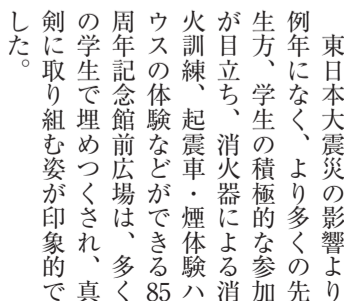
在学生特待生奨学金は本学創立130周年を記念して創設された奨学金制度です。学業成績、人物及び学業以外の活動などについて極めて優れた学生を各学科・科が推薦し、教授会にて選考・決定するもので、奨学生は後期授業料が免除となります。採用者への授与式が行われ、学長より代表者へ採用通知が手渡され、その後、理事長より、「学生代表として各種の学園運営に協力を頂きたい」との、挨拶がありました。



(食ラボ=食品ラボラトリー)  
学生有志団体23名が活動

### 板橋校舎 防災訓練行われる

10月13日、大学・短大教職員、学生などを対象として、地震による火災発生を想定した防災訓練が行われました。今年度は、従来の避難場所(中高グラウンド)の他に、大学16号館十条門側芝生の2カ所に拡大しての実施となりました。



消火訓練の説明を  
真剣に聞き入る学生達

### ●うれしい！ 楽しい！ 待ちに待ったどんぐり拾い

秋晴れとなった10月26日、北区王子第5小学校の1・2年生総勢67名が、先生に連れられて、本学キャンパスに集まり、生活科の学習の一環として、今回で2回目となるどんぐり拾いが行われました。



「先生、こんなにとれたよ！」



明るくキャンパス内の案内

第5小は本学まで徒歩10分の距離にあり、学生の教育ボランティアの受け入れ先として5年目となります。今回も将来教員を目指す大4児童教育学科の八木紀子さんが、教育ボランティアとして参加し、自らキャンパス内を案内したり、児童との触れ合いの中で、良い体験を重ねました。

### 中学校・高等学校

附属中高では、中間考査後の短い準備期間でしたが、全員で協力し、無事に学園祭当日を迎え、笑顔があふれる2日間となりました。

中学校では、全学年による合唱祭が行われました。どのクラスも後ろの席まで歌声がしっかりと聴こえ、よく練習した様子が感じられる合唱祭となりました。

特に3年生の合唱はどのクラスもレベルが高く、後輩達の憧れや目標となるものでした。校舎内では授業や総合学習の時間に学んだことを展示発表し、中学生の学校での様子を来校者に知って頂く機会となりました。

高校では、高校1年生による合唱祭を行いました。中学で合唱発表をした生徒が多かったため、経験を生かして、各クラスでまとまる事ができました。また、中庭では軽音楽部・ドリル



盛り上がりを見せた！  
高校プラスバンド部

音を出しながらの絵本の読み聞かせもあり、楽しいひと時を過ごしました。終わりにそれぞれの手作り楽器を持ち寄り、全員で演奏会を楽しみました。

### 節電継続にご協力を！

昨年の東日本大震災発災に伴う電力需給ひっ迫を受けて実施された法律に基づく電気の使用制限は、当初の予定を早め、終了となりました。本学園では目標としていた対平成22年度使用最大電力の15%減を超える削減を達成しました。これも、学生・生徒・教職員など関係者のご理解と、ご協

力の賜物と考えています。この間、節電のための様々な工夫をし、これまでの生活スタイルや機器の使い方を直すなど、節電の考え方が日常の中に浸透してきているものと思います。さらに、この節電への取り組みはCO<sub>2</sub>削減のための省エネにも役立つものとなりました。

本学園では法律による節電の終了後も、継続して節電に取り組むことを決定致しました。既に、この冬も、照明・空調機器などの節電要請の通知が国よりありましました。こうしたことから、より安全で効果的な節電ができますよう関係各位のご理解、ご協力をお願い致します。



### 電気消したい！ 節電隊



今夏の電力使用制限令を受けて、使用していない教室や廊下の電気・エアコンなどの電源をOFFにする学生の「電気消したい！節電隊」が発足し、サークル連合会や有志学生が腕章を付けて活動しました。冬の季節は暖房による電力消費が夏よりも多いと言われていいます。今後も引き続き活動を行います。ご協力をお願いします。

家政大「食ラボ」発足  
平成23年10月4日「食ラボ」が発足しました。食ラボは学生の食に対する意識の向上、楽しいランチの提供を通して家政大の食全体を変えていくことを目標とする学生有志団体です。

学長より採用通知の授与  
(=6月28日実施)

ホームカミングデー開催  
緑苑祭期間中の10月22日、85周年記念館1F学生食堂にて、昭和36年、46年、56年、平成3年の卒業生を招き、ホームカミングデーを実施しました。全国各地から参加した卒業生は、大学197名、短大145名で、懐かしい恩師や久しぶりに再会した旧友との会話は、尽きることなく続きました。

出版  
落合恵子特任研究員(教授)人間文化研究所「積極的その日暮らし」(朝日新聞出版)  
「孤独の力」を抱きしめて(株式会社小学館)

活躍しています  
卒業生  
本学の卒業生 森田佐和子(もりた さわこ)さん 平成20年度 栄養学科管理栄養士専攻卒業。現在、管理栄養士として勤務する傍ら、「ラクして美味しくヘルシーに」を料理のモットーに、最近話題の調理器具であるシリコンスチーマー、タジン鍋を使用したレシピ本その他、ちよっとおしゃれなケーキ・サレのレシピ本

などを出版しました(株式会社コスミック出版)。手軽に簡単、そして美味しいメニューをカラーページで、分かりやすく紹介しています。

幼稚園  
大学学園祭に幼稚園も参加し「あきまつり」を開催しました。父母の会が主体となつて今年度は「音と遊ぶ」をテーマに、親子で小豆やドングリでマラカスを、牛乳パックや紙皿で太鼓など作り、普段見慣れている素材や廃材が音の出る楽器に変身。また、保護者の方々に、様々な楽器や新聞紙などを使って効果



いい音が出るね！  
盛り上がった演奏会